

さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校第9期大学院会報第7号

二度目の文化祭 副会長 三品 ○○

シニア大学岩槻校校友会（1～9期）の文化祭に9期生として参加。素晴らしい思い出になりました。今年の文化祭は班ごとに全員参加で絆も深まり、各班の素晴らしい演技やクイズで考えさせられたり、感動したり笑いこけたりと楽しい一日が頭に浮かびました。さて、今回の舞台は本丸公民館でのI期から9期までの競演。各期に30分程度の時間が頂けました。最初決まっていた演芸が都合により出来なくなり、急遽バトンが私に回ってきたが時間も少なく、さてと考えました。

今回は9期としての参加です。皆さんに声をかけたら快く参加して頂き、無事三十数名の皆さんと共演が出来ました。下手な指導にもかかわらず、一生懸命練習に励んでくださり、私にも勇気がわいてきました。「でも間違えたらどうしよう」とプレッシャーもありました。皆さんが笑顔で「大丈夫」の一言でホッとしました。又、会場の皆さんの声援も励みになり感謝です。民話「つつじ娘」の語り部の素晴らしいさに場内は静まりかえり、息をのみながら話に聴き入っておられました。ストーリーに合わせての映像、息の合った二人に「すごい」の一言。会場から「素晴らしい」との声が聴こえましたか？展示品も沢山出品されていました。9期の皆さんの作品はとても素敵でしたね。私も年のせいか、お世辞でも「よかったね」と言われると参加したことに心から嬉しく思いました。演技に参加して下さった方、応援して下さった方、小道具の作成に参加して下さった皆様に心からお礼を申し上げます。これからも皆様と一緒に楽しい思い出作りが出来ることを楽しみにしております。ありがとうございました。

親睦旅行 蔵の街「とちぎ散策」 4班 坂本 ○○

10月29日水曜日、午前9時02分、岩槻駅前を三倭観光のバスで出発、世界中の青空を全部ここ岩槻から栃木に持って行く様な素晴らしい秋日和の中、49名の方の参加を頂きました。バスの中では、4班幹事の紹介と校友会会長のあいさつ



があり、そのあと幹事が用意した歌詞カードで合唱したりゲームをやったり、栃木市出身の詩人、柴田トヨさんの「くじけないで」のDVDを幹事のナレーション付きで鑑賞したりして、車内は大変盛り上がりおりました。10時20分予定通り「蔵の街とちぎ」第一駐車場に到着致しました。「蔵の街とちぎ」では、2班に分かれて「栃木市観光ボランティア」の案内で「蔵の街美術館」と「山車会館」を見学した後に市内観光を致しました。そして、お楽しみの昼食は、校友会副会長の乾杯の音頭で始まり、松花堂弁当を味わって頂きました。

食事の後、栃木市の街中を流れる巴波川^{うづまがわ}を3班に分かれて遊覧船に乗って頂き、船上から童心に返って鯉と戯れて頂きました。遊覧船は、船頭が流れに乗って、栃木市や巴波川の歴史を案内してくれました。船頭が歌う「栃木河岸音頭」を聞きながら蔵の街並みを眺めれば、そこはまるで江戸時代にタイムスリップしたかのようでした・・・！そして船を降りた後、1時間程の自由時間を設けましたのでそれぞれに、小江戸とちぎの情緒を堪能して頂きました。帰りは、駐車場を午後3時に出発して再び栃木ICから東北道に乗って羽生SAで休憩し、予定通り午後5時には出発地岩槻駅前^{しもねた}に到着致しました。バスの中では、ビンゴゲームやねぎの^{しもねた}小話？が演じられたりして去年に勝るとも劣らない盛況ぶりでした。今回の親睦旅行は、天候にも恵まれ何と云っても事故や怪我が無かった事が何よりで、これもひとえに参加された皆様のご協力があればこそと、幹事一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



八月の夏休みを利用して家族と黒川温泉と湯布院に行ってきました。まず福岡空港につき、太宰府天満宮に行き、大学と高校の受験生二人の孫のために参拝し御札を求めました。次に湯布院の町並みを各自散策しましたが、中国・韓国の人たちとありますが、道路いっぱいに関歩していて、まるで外国に来たようだと感じました。

二日目は、湯布院、長者原、瀬の本高原をバスで通り高千穂峡（真名井の滝周辺）を散策。とても雄大で素敵でした。黒川温泉で唯一の阿蘇山を望む絶景露天風呂に入りました。

三日目は阿蘇、草千里をへて阿蘇残をロープウェー（4分・1506m）で頂上に向かって登って行きました。その時、ロープウェーから下を見ると石がゴロゴロしていて私の足では登れないな—と思いながら頂上に着き、案内係の女性に連れられて河口まで行くと、ヒョイと網の張ってある火口の中に入って説明を始めましたが、こちらが怖くなりました。水蒸気がモクモクと上がっていました。火口の中には、いつもは青い池が見えるそうですが、雨が少なかったようで見られませんでした。頂上には、石で造られた長方形の物がいくつも置かれてあったのですが、もし噴火が起きたらこの中に入ればよいのだと説明を受けながら火口をのぞいたり、写真を撮ったり皆さんワイワイ楽しそうに過ごしておりました。しかし先日の御嶽山の惨事をテレビ・新聞などを見るにつけ死者 56 人その他怪我人多数、いまだに見つからない人もいらっしやる。活火山の怖いことをあらためて知りました。

私たち家族も、先日登った阿蘇山も活火山だった。もしあの時噴火していたらとゾッとしました。今後活火山に登るときには「万全の装備をしなければいけないね」と家族と話し合いました。

旅行の1~2日間は山の上の方でしたので涼しく、良かったのですが、三日目の熊本城に着いたと時はものすごい暑さに閉口しました。熊本城の立派さに引かれ中に入り、きれいで良く出来ているのには驚きました。それから福岡空港に行き帰路に着きました。とても楽しかったです。

岩槻校 9 期の来期方向付け

(11/10 の理事会結果) 副会長 関谷 ○

早いもので大学院生活も後半に入り、講義も残り 2 回のみとなります。3 月に卒業すると校友会事業のみとなり、来季は自分達で全てを企画運営することとなります、この方向付けが固まりましたのでご案内します。

「今季トライアル」2月16日（月）会場 ふれあいプラザいわつき（東岩槻）

AM10 時～PM 4 時 講義（救命講習）+ 協議・連絡を行います。

「来季計画」

***全体集会**を隔月に開催し講座・行事に充てる、空きの月はクラブ・班の企画行事を行う。

*（講義は内部講師を重点にお金のかからない工夫）

***会場**はふれあいプラザいわつきとし9期のホーム会場とする。

***会費**は従来と同額の 2,000 円とし運営する。

以上の計画をベースに 12 月 8 日（月）来季皆さんが継続参加していただけるかどうかのアンケート調査を行います。ご協力を！！

歌舞伎鑑賞報告 2 班 町田 ○

「伽羅先代萩」（めいぼくせんはいはぎ）を 11 月 19 日に国立劇場で観劇してきました。歌舞伎は 68 才にして初めての経験で、今までは難しいと思い敬遠してきましたが今回シニア大学の企画があったので重い腰を上げた次第です。

観劇前に歌舞伎についてのレクチャーがあり演目の見どころ等、丁寧な説明がありました。

「いざ本番」、衣裳、舞台も艶やかでセリフも理解出来、藤十郎、扇雀、橋之助等の有名役者を目の前にして至福の時間を過ごしました。今日から「食わず嫌い」から歌舞伎ファンです。

梅雨曇り
風揚げて
ふるさと
思ふ
幼き日
古墳を登る
子等の声
七班 熊倉 ○○